

株主のみなさまへ

第169期 報告書 2022年4月1日～2023年3月31日

このまちを思い、
このまちに寄り添う。
これまでも、これからも。
このまち思い
エネルギー。



エネルギーを供給する事業者としての使命を果たすべく 努めてまいります。

平素は、当社グループの事業運営につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当期の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が比較的落ち着きを見せ、設備投資等に一部持ち直しの動きが見られたものの、エネルギー価格の高騰や急激な円安の進行による物価の上昇など、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

エネルギー業界におきましては、ガス・電力市場の小売全面自由化に伴う、事業者間競争の進展、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素化の加速、ロシアのウクライナ侵攻等によるエネルギー価格高騰など、ガス事業を取り巻く環境は大きく変化

しております。

このような状況のもと、当社グループは、国が実施している「電気・ガス価格激変緩和対策事業」への参画をはじめ各種施策を講じて、エネルギーを供給する事業者としての使命を果たすべく努めてまいります。

2023年度中期経営計画に基づき、ガス体エネルギーの積極的・効率的利用による累積CO2の低減に邁進するとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた事業基盤の改革・強化を通じて、地域社会と共に発展する企業グループをめざしてまいります。

当期の連結売上高につきましては、ガス販売単価の上昇等に

より、前期に比べ24.0%増加の95,219百万円となりました。連結経常利益は、円安や原油価格の上昇に伴う原材料費の増加はありましたものの、売上原価を上回る売上高の増加等により、前期に比べ60.6%増加の7,412百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に比べ42.4%増加の5,216百万円となりました。

期末の配当金につきましては、安定的・継続的に配当を行う基本方針のもと、当期の業績、経営環境その他諸般の事情を勘案して、1株につき7円とさせていただきます、6月2日にお支払いを開始しております。

当社グループを取り巻く今後の経営環境は予断を許さないものの、引き続きグループ一丸となって業績向上に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

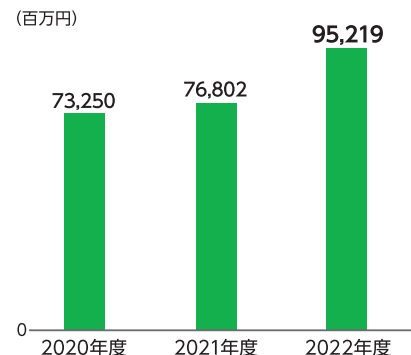


代表取締役社長

松藤 研介

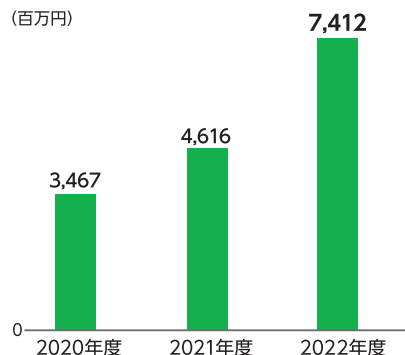
第169期の経営概況

連結売上高 **95,219** 百万円



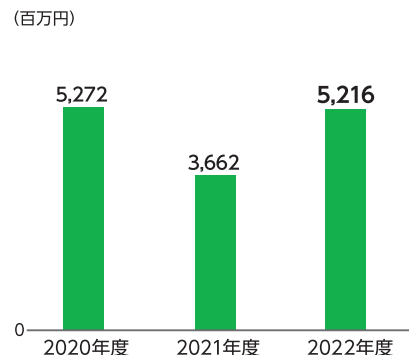
ガス販売単価の上昇等により、前期に比べ24.0%増加しました。

連結経常利益 **7,412** 百万円



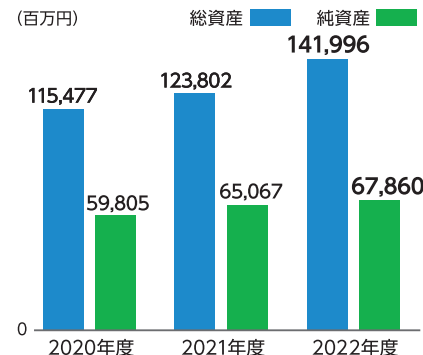
売上原価の増加を上回る売上高の増加等により、前期に比べ60.6%増加しました。

親会社株主に帰属する当期純利益 **5,216** 百万円



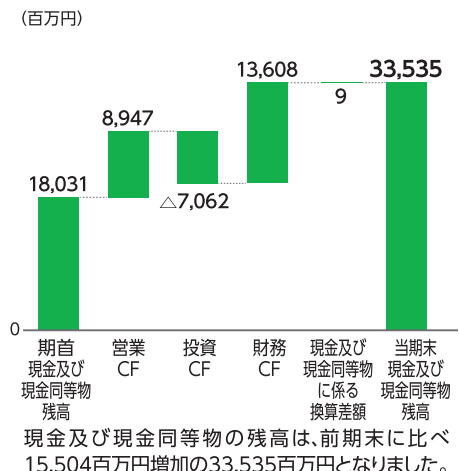
親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に比べ42.4%増加しました。

総資産 **141,996** 百万円
純資産 **67,860** 百万円



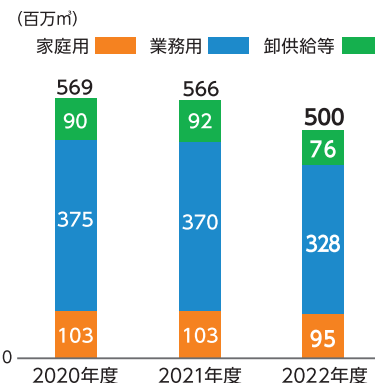
総資産は、現金及び預金の増加等により、前期末に比べ14.7%増加しました。
純資産は、利益剰余金の増加等により、前期末に比べ4.3%増加しました。

キャッシュ・フロー **33,535** 百万円
(現金及び現金同等物)



現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ15,504百万円増加の33,535百万円となりました。

都市ガス販売量 **500** 百万m³

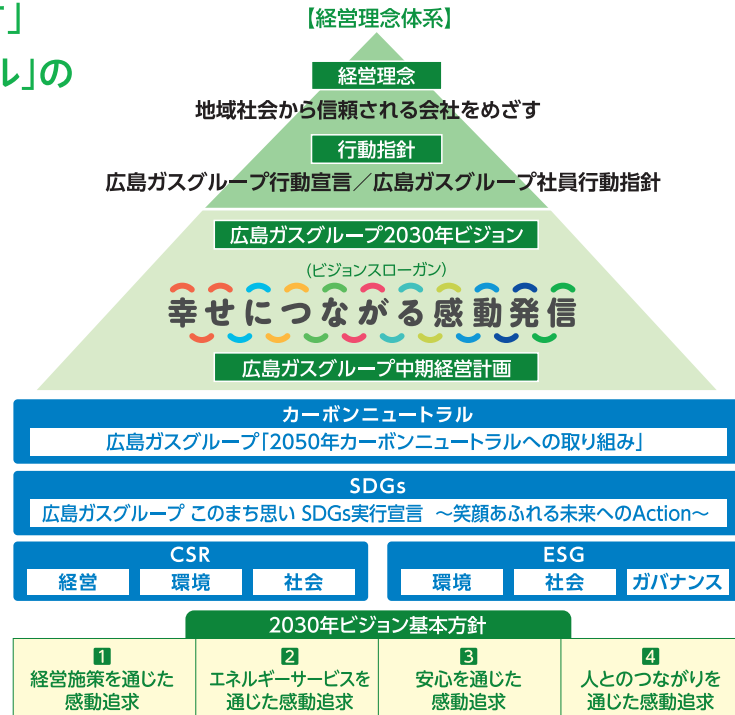


大口を中心とした業務用及び卸供給等の販売量の減少等により、前期に比べ11.7%減少の500百万m³となりました。

「2030年ビジョン」、「SDGs実行宣言」 および「2050年カーボンニュートラル」の 実現に向けた経営施策の推進

当社グループは、「広島ガスグループ2030年ビジョン」、「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言」および2021年11月に策定した「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」へ挑戦してまいります。

2030年ビジョン達成につながる事業活動、SDGs・ESG関連事業への取り組みおよび2050年カーボンニュートラルの実現に向けた事業基盤の改革・強化を通じて、地域社会と共に発展する企業グループをめざしてまいります。



「2030年ビジョン」、「SDGs実行宣言」および「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の詳細は、下記URLまたはQRコードからご覧ください。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

▶2030年ビジョン

https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/management/management_06.html



▶SDGs実行宣言

<https://www.hiroshima-gas.co.jp/sdgs/>

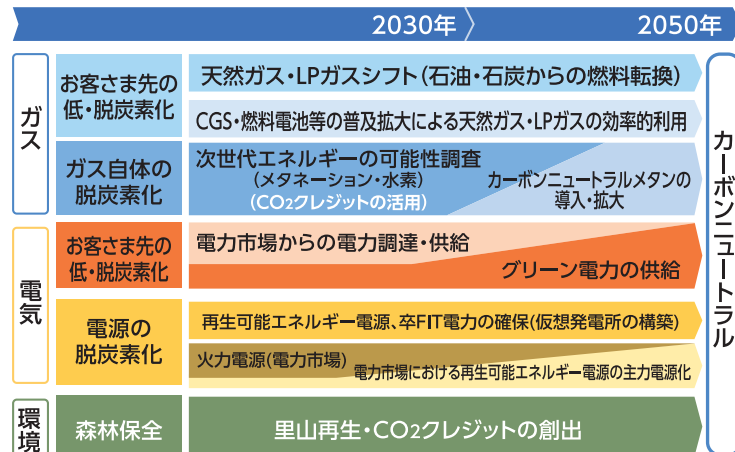


▶2050年カーボンニュートラルへの取り組み

https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/w_new/release/2021/image/carbon1105.pdf



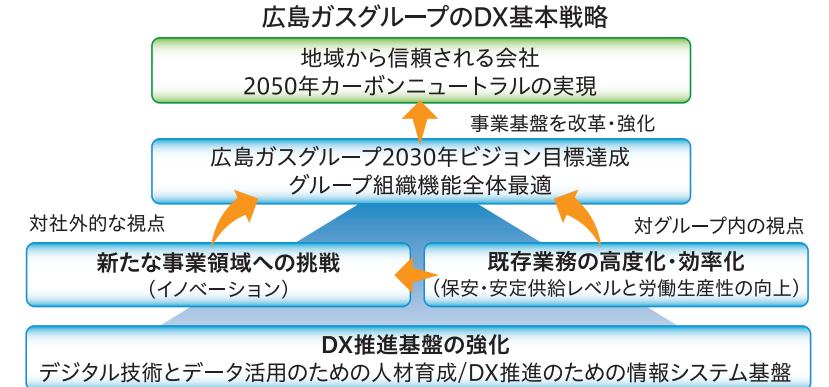
2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップ



「デジタルトランスフォーメーション(DX)」の推進

当社グループは、「広島ガスグループのDX基本戦略」に基づき、「既存業務の高度化・効率化による保安・安定供給レベルの向上と労働生産性の向上」、「Web会員やSNS等の強化によるお客さまとのデジタル接点機会の更なる拡大・拡充を通じた新たな事業領域拡大への挑戦」の視点に基づいて、デジタル技術とデータを活用した取り組みを推進します。

また、デジタル技術やデータを高度に活用できる人材の育成および組織全体でDXに取り組む風土文化醸成により、DX推進基盤の強化に努めてまいります。



省エネ・省CO₂による低炭素化の実現に向けた取り組み

当社グループは、将来の脱炭素化を踏まえ、ガス体エネルギーや再生可能エネルギーの普及拡大を通じて、低炭素化の実現に貢献するとともに、エネルギーサービス周辺事業を強化することにより、総合エネルギー事業の更なる拡大を図ります。

2022年8月には、産業用としては当社初となるカーボンニュートラルな都市ガス※の供給を開始しました。

また、2023年4月には、「ークレジット制度を利用した「一般住宅への家庭用燃料電池エネファームの導入促進によるCO₂削減事業」を開始しており、今後も低炭素化に資する取り組みを推進してまいります。

※カーボンニュートラルな都市ガスとは、天然ガスの採掘から液化、輸送、再気化およびお客さま先での燃焼に至るまでの工程で発生するCO₂を、CO₂クレジットで相殺(カーボン・オフセット)したLNGを活用したもので、地球規模で見れば、CO₂排出量をゼロとみなせる都市ガスとなります。



家庭用燃料電池エネファーム

環境負荷の低減に向けた取り組み

当社グループは、地域に根差したエネルギー事業者として、SDGs・ESG経営を念頭に、環境負荷の低減に資する取り組みや行政および地域と連携した環境啓発活動など、環境基本理念および環境行動指針に則った環境保全活動を推進します。

2020年7月には、神石高原町星居山における分収造林事業に関する契約を締結しました。

また、2023年3月には、同町石屋山においても同様の契約を締結し2023年度中の施業を予定するなど、今後も事業展開を通じて、地域社会と共に発展する企業グループをめざします。



神石高原の森(星居山)国有林

スマート保安の推進によるレジリエンスの強化

当社グループは、広域保安体制の拡充、経年導管の取り替え促進および保安周知の強化等による保安レベルの向上、地域との連携による災害対策の強化を図るとともに、IoTやAIなどの新技術による安全性と効率性を追求するスマート保安への対応等により、レジリエンスの強化を図ります。

また、地震や津波、豪雨等の自然災害への対策強化に加え、原料調達リスクへの対応強化等、お客さまの安心安全の更なる向上に努めてまいります。



橋梁・ホルダー点検におけるドローン活用の検討

地域の活性化・発展に向けた取り組み

当社グループは、「ひと思い活動(次世代教育・スポーツ振興等)」、「くらし思い活動(まちづくり、地域産業の活性化・経済の発展、芸術文化の発展および地域価値向上等)」、「環境思い活動(CO2排出削減・省エネ、環境・地域保全活動等)」に取り組むなど、地域の活性化・発展に資する活動を推進します。

2022年度においては、「ひと思い活動」として、エネルギーと環境について学ぶ「サイエンスショー」、災害時の対処方法や備えを学ぶ学校向け出張授業「広島ガス防災教室」および当社スキー部の竹内智香選手による、未来・将来への好奇心を高める出張授業「未来を拓く教室」を実施しました。

また、2023年3月には、公益財団法人呉市体育振興財団様主催の「バドミントン講座」が開催され、小学生から高校生までの64名を対象にバドミントン技術が向上するコツをお伝えしました。

今後も、未来を担う子どもたちの健やかな心身の育成支援に取り組みます。



当社スキー部の竹内選手による出張授業



当社バドミントン部による「バドミントン講座」

会社の概況

株式の状況 (2023年3月31日現在)

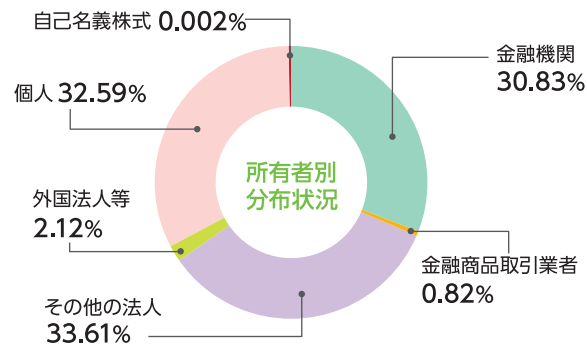
●発行可能株式総数	240,000,000株
●発行済株式の総数	68,373,036株
●1単元の株式の数	100株
●株主数	10,094名

大株主の状況 (2023年3月31日現在)

【株主名】	【持株数(千株)】	【持株比率(%)】
岩谷産業株式会社	7,607	11.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,350	6.36
明治安田生命保険相互会社	3,855	5.63
株式会社広島銀行	2,840	4.15
日本生命保険相互会社	2,376	3.47
広島電鉄株式会社	1,860	2.72
西部ガスホールディングス株式会社	1,420	2.07
千田興業株式会社	1,381	2.02
第一生命保険株式会社	1,335	1.95
広島ガス自社株投資会	1,281	1.87

注) 1.持株比率は、自己株式(1,766株)を控除して計算しております。
2.株式会社広島銀行の持株数には、株式会社広島銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式2,430千株(持株比率3.55%)を含んでおります(株主名簿上の名義は「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・広島銀行口)」であります。当該株式は、信託約款の定めにより、株式会社広島銀行が議決権の指図権を留保しております)。

所有者別分布状況 (2023年3月31日現在)



会社概要 (2023年3月31日現在)

本 社 所 在 地 / 広島市南区皆実町二丁目7番1号
 設 立 / 1909年10月30日
 資 本 金 / 5,246,971,744円
 従 業 員 数 / 681名
 主 要 な 事 業 内 容 / ①ガス事業
 ②ガス器具の販売
 ③液化天然ガスの販売

役員 (2023年6月22日現在)

取締役・監査役

代表取締役会長	田村 興 造
代表取締役社長	社長執行役員 松藤 研 介
取 締 役	常務執行役員 谷村 武 志
取 締 役	常務執行役員 中川 智 彦
取 締 役	常務執行役員 田村 和 典
取 締 役	常務執行役員 沖田 康 孝
取 締 役	常務執行役員 吉崎 直
取 締 役	棕田 昌 夫
取 締 役	池田 晃 治
取 締 役	松坂 英 孝
取 締 役	田村 典 正
常 勤 監 査 役	沖本 憲 一
常 勤 監 査 役	三宅 英 之
監 査 役	酒見 俊 夫
監 査 役	秋田 智佳子

執行役員

執行役員	判谷 泰 典
執行役員	荒田 秀 和
執行役員	清水 義 彦
執行役員	山口 佳 明
執行役員	水野 直 人
執行役員	柴 萩 裕 一
執行役員	大野 暢 寛
執行役員	平木 伊久司

■ 2023年度株主優待制度について

当社は、株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、今後もより多くの株主の皆さまに当社株式を長期に保有していただける魅力あるものとするを目的に、株主優待制度を実施しております。

株主の皆さまには、保有されている株式数および期間に応じて下記ポイントを付与、広島県特産品(40品程度を予定)または広ガスポイントの中から好きな優待品をお選びいただくことができます。広島県ならではの特産品の魅力をお楽しみください。

【株主優待ポイント表】

保有株式数\保有年数	3年未満保有	3年以上保有
500株以上1,000株未満	1,000ポイント(1,000円相当)	2,000ポイント(2,000円相当)
1,000株以上2,000株未満	3,000ポイント(3,000円相当)	4,000ポイント(4,000円相当)
2,000株以上5,000株未満	5,000ポイント(5,000円相当)	6,000ポイント(6,000円相当)
5,000株以上	8,000ポイント(8,000円相当)	10,000ポイント(10,000円相当)

【対象となる株主さま】

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された500株(5単元)以上を保有されている株主さま

【送付時期】

毎年1回、定時株主総会終了後の6月下旬に、優待品カタログをお送りします。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日
上記のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定める日

公告方法 電子公告
公告掲載アドレス <https://www.hiroshima-gas.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞および広島市で発行される中国新聞に掲載します。

単元株式数 100株
証券コード 9535
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 同上
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪府大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

株主さまへのご案内

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 単元未満株式をご所有の株主さまにつきましては、ご所有の単元未満株式の買い取りを当社にご請求できる「単元未満株式買取請求制度」または単元株式(100株)にまとめるため、単元株式数に不足する数の当社株式の買い増しを当社にご請求できる「単元未満株式買増制度」のご利用が可能です。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



広島市南区皆実町二丁目7番1号
<https://www.hiroshima-gas.co.jp/>



この報告書の印刷・製本する際の電力100kWhは、自然エネルギーでまかなわれています。



見やすいユニバーサルフォントを採用しています。